

募集予定馬名（母名と生年で表示）	父	性別	毛色	予定厩舎	募集価格（500口）	備考	
アップワードスパイラルの2022	キズナ	牝	鹿毛	（栗）藤原英昭	総額（万円）	3,500	母はG1 4着など重賞入着の活躍馬。 全兄スパイラルノヴァ（牡5 父キズナ）3勝：アイビーS(L)- 3着、東雲賞、獲得賞金約6300万円（2023.8月末時点）、現役 クラブ所属馬の半姉インアスピ、半兄ヘリックスは残念ながら勝ち上がることは叶いませんでしたが、父キズナを迎えた本馬には全兄スパイラルノヴァと同等以上の活躍を期待しており、名調教師・藤原英昭調師に託して大舞台を目指して行きます。
					一口（円）	70,000	
オールアイキャンセイイズワウの2022	サトノアラジン	牡	鹿毛	（美）牧光二	総額（万円）	1,200	母は米デルマーマイルH(G2)2着などのブラックタイプホース。 半兄姉にはキネオダンサー（3勝）、ディープエクシード（2勝）があり、肌馬とディープインパクト系との相性の良さを期待しております。 半兄シェノン、ホワイトキャンパス同様に身体の強さを感じさせる馬体を有し、一つ勝つことで未来を切り拓いていくタイプの馬であると考えており、預託先は本馬の血統で過去一番の成績を納めた牧光二調教師に託して、一つでも多くの勝ち上がりを目指します。
					一口（円）	24,000	
カフェソサエティの2022	パイロ	牝	鹿毛	（栗）小林真也	総額（万円）	1,500	母は未勝利ながら、近親にJBCLクラシック(Jpn1) 勝ち馬のファッションスタ、ヒヤシンスS(L) 勝ちで全日本2 歳優駿（Jpn1）2着のコンパスチョンヤ、タッチングスピーチ・サトノルークスの母馬リッスンが並ぶ堅実な母系の一族で、本馬は初子になります。 パイロはダート路線では堅実な実績を挙げており、直近の近親馬の実績からもダートでの活躍が期待される本馬は、信頼度◎の栗東・小林真也調教師とのコンビでダート戦線に挑みます。
					一口（円）	30,000	
キトゥンズロアの2022 [外]	Pinatubo	牡	鹿毛	（美）久保田貴士	総額（万円）	3,500	母は米ゴルディコフS(G2)優勝など米7勝の活躍馬。半兄ウィンザーロア（牡3, 父Frankel）、2番仔キングズロア（牡2、Kingman）に続く期待の本馬は、父にピナトゥボを迎えて日本競馬に挑みます。ピナトゥボのG1 3勝はいずれも芝1400mとスピードタイプであること、Shamardal - Giant's Causeway - Storm Catと続くサイアラインは日本競馬での実績があり、本馬の日本競馬への適性を十分に備えていると考えております。 初年度産駒であることも魅力の一つである本馬は、美浦・久保田貴士調教師とのタッグで日本競馬に果敢に挑戦して行きます。
					一口（円）	70,000	
サンタメテの2022	Raven's Pass	牝	栗毛	（美）岩戸孝樹	総額（万円）	1,200	母はイタリア競馬で2勝の戦績ですが、本馬の近親には種牡馬ドーンアプローチがあり、一撃を秘めた母系に属しております。 父Raven's Passはタワーオブロンドンで知られており、母系のStorm Catとの掛け合わせでスピード面での期待を寄せている1 頭です。 本馬は美浦・岩戸孝樹調教師に預託することとなりました。岩戸師は外国血統の競走馬を堅実に育成しており、本馬の持つ力を存分に引き出してくれることを期待しながら、上を目指して行きます。
					一口（円）	24,000	
ファハンミュウラの2022 [外]	Kingman	牡	鹿毛	（栗）友道康夫	総額（万円）	7,000	母は米ロバートJフランケルS(G3)優勝など米9勝の活躍馬。G1-3勝を含む重賞5勝で米2歳牝馬チャンピオンのスウィートカトメインなどG1勝馬4頭を輩出した優秀な血統背景を持つ母系に属しており、本馬は2番仔。半兄カポデデュティカピ（牡2、Frankel）は未出走（2023年8月末時点） 日本競馬界でも大きな注目を集める父Kingmanの血を受け継ぐ期待の本馬は、高いレベルで安定した成績を収めているクラブ所属馬のファベルと同じ栗東・友道康夫調教師の手腕に託して夢の舞台を目指します
					一口（円）	140,000	
レイローの2022	タワーオブロンドン	牝	鹿毛	（美）鈴木慎太郎	総額（万円）	1,200	母はクラブ開業初年度の募集馬。期待された成績は取られませんでした。叔父クラリティスカイ（G1）、クラリティシチー（OP）をはじめ、近親にタイキフォーチュン(G1)、セイウンコウセイ（G1）などの名馬・活躍馬が並ぶ良血の一族に属しております。 オルフェーヴルは種牡馬として近年評価を高めており、母父オルフェーヴルに父タワーオブロンドンのスピード強化を狙った本馬には、誕生当初からクラブでの活躍を期待して成長を見守ってきました。 本年のセリではタワーオブロンドンの初年度産駒としての評価は高かったこともあり、本馬への期待は上昇中です。母が果たせなかった勝ち上がりを、美浦・鈴木慎太郎調教師と共に目指して行きます。
					一口（円）	24,000	
[地方] デザートオブライフの2022	アメリカンペイトリオット	牝	鹿毛	川崎 甲田悟史	総額（万円）	600	母はG3 勝馬で、リステッド入着4回の実力馬。全兄エスタスは骨折で引退を余儀なくされましたが、地方交流で上昇のきっかけを掴んでおり、近年のアメリカンペイトリオット産駒もダートで堅実な成績を残していることから、本馬のダート適性の可能性は高いと考えております。一方で成長には少し時間のかかるタイプでもことから、レースを積極的に使いながら成長させて活躍を期待していこうと考え、地方ファンドとして募集することとしました。 本馬は過去クラブ所属馬ショウキに勝ち鞍をもたらしてくれた川崎競馬の甲田悟史調教師に預託し、地方競馬の活躍を目指します。
					一口（円）	60,000	